

選挙公約 実現に向けて どう、取り組むのか説明します。

信頼関係を重視して

ゴミ焼却場問題は、小諸・軽井沢と十分に協議をする

苗畑へのゴミ焼却場の建設については、建設予定地は水源が

あるので現在の計画は見直しが必要だということです。どのように見直し作業を進めていくかは、小諸市・軽井沢町との話し合いをしっかりと行い、信頼関係を崩さないように十分に注意をして対応していきます。

慌てずに誤りのない選択

学校給食の在り方は、じっくり時間をかけて

中学校の改築による学校給食の在り方については、教育委員

会は「センター方式」を決めています。私の公約は自校給食の存続です。この問題の対応は、慌てずにじっくり時間をかけて、誤りのない選択をしていきたいと思えます。

条例を改正しました

町長などの給料の2割カットと町長専用車の廃止

町長・助役(4月1日からは副町長)・教育長、いわゆる特別職

の給与は、3月議会で条例改正を行いました。私が就任した2月28日からの任期中間中は2割カットといたしました。また、町長専用車は廃止をし、公用車として、職員が有効に使用できるようにしました。

現状を把握してから

国保税の引き下げなどは財源も示して、できるものから実施

国保税の引き下げ、介護保険料の軽減、子どもの医療費無料化を小学校卒業までに拡充、保育料の軽減、農業と商工業への

支援ですが、予算がどれだけ必要なのか、長期的な見直しはどうか、財源はどのように確保するのかという総合的な視点で、3月中旬に各担当課からしっかりと現状を聞いて、できることから順次、実施していきたいと考えています。

無限のエネルギーがある

町民が主人公。住民参加の町づくりこそ、町を輝かせる道

国による地方交付税や補助金の削減、長期の経済不況などによる税収の落ちこみは、町の財政運営を厳しくするものです。こうした事態に対して、私たちはどう対処していくのか。

町民が主人公で、住民参加の町づくりを進める事こそが、併せて自立の道を選択した御代田町を、一層輝かせる道ではないでしょうか。

私は、町民のみなさんとして力を合わせて、町づくりを進めていく覚悟です。「住みよく明るい御代田町をつくらう」の一点で、心と力を合わせて頑張ります。

地域や町を良くしたいという町民のエネルギーこそが町発展の原動力

住みよい町づくりは、行政だけが頑張るだけではありせん。また、何でも町が計画して予算をだして事業を行えば良いというものでもありません。「町民が主人公」で、自立の町にふさわしい住民参加の町づくりを進めます。

御代田町になって50年。町民のみなさんが持っている豊かな経験や技術・特技・知恵と力・町や地域を良くしたいというエネルギーをどれだけ引き出して発揮していただくか、そこにこそ御代田町が発展する無限のエネルギーがあると思います。行政として、そうしたエネルギーを十分に引き出すようにしていきたいと思えます。

開かれた町政に向けて

要望や苦情は行政全体で理解してサービスを向上します

町への苦情や要望などを、それぞれの係だけの対応にせず、情報を共有し合い、行政全体の認識にして対応するような体制づくりを進めます。

具体的には、新たに「何でも相談係(仮称)」を設け、それぞれの窓口で寄せられた意見や要望、苦情などを集約し、担当する課などと連絡をとり、3日以内には必ず返事をするような体制をつくります。

こうした町民からの意見や苦情、要望などを全体で認識することは、行政としての反省点や教訓とすべきことなどが明らかになります。結果として行政サービスの向上にも繋がるものと思えます。

町長直通のファックスと専用メールを開設

町民に開かれた町政の実現に向け、みなさんが直接、町長に意見を送れるように、町長直通のファックスと、専用メールの回線を開設しました。どなたのご意見も受け付けますので、お気軽にご利用ください。また、どこにでも出かけていく「出前町長室」をはじめ、開かれた町長室にします。



ご意見・ご要望など、お気軽にお寄せください。
町長直通 Fax 32-3141 メールアドレス moteki-y@town.miyota.nagano.jp